

# 新型コロナウイルス感染症対策 ガイドライン

2022年10月27日版  
秋田県バレーボール協会

参考：JVA大会運営ガイドライン新型コロナウイルス感染防止対策（2022年4月22日版）  
第58回東北高等学校バレーボール選手権大会「新型コロナウイルス感染防止対策についての確認事項」  
第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会（全国大会）「感染症拡大防止対策にまつわるお願い」

## 【I. 大会の開催可否について】

### 1. 大会全体の開催可否について

日々の感染状況を確認の上、以下の通りとする。

- (1) 大会開催地の状況により、中止または延期を検討する。
  - ① 秋田県内で緊急事態宣言およびまん延防止措置の適用が発出した場合。
  - ② 県独自の緊急事態宣言等の発令またはイベント開催自粛要請、あるいは大会開催地の要請により大会ができないと判断される場合。
  - ③ 体育館の借用ができない場合。
- (2) 参加者の状況により、中止または延期を検討する。
  - ① チームの参集が困難な場合（申込数の1／3以上）
  - ② 大会参加者および競技運営に係る者に新型コロナウイルス感染症感染者が発生し、競技運営に支障をきたす、またはその可能性が想定される場合。
  - ③ その他新型コロナウイルス感染症に起因する事象により大会の開催または継続が困難と想定される場合。

### 2. 出場の可否について

【II. 新型コロナウイルス感染症に関わる大会参加基準】に詳細を記載する

- (1) チームとしての試合出場の可否は、各学校の基準による。
- (2) 感染者および濃厚接触者は、試合出場を認めない。  
※濃厚接触者に当たるかどうかの判断は、保健所等の判断による。
- (3) 各体育館の新型コロナウイルスに対する対応基準により、体育館への入場を認めない場合がある。

## 【II. 新型コロナウイルス感染症に関わる大会参加基準】

大会参加の判断基準について 大会への参加の判断は概ね以下の基準とします。

以下の基準をもとに参加の判断は、当該学校長が行うものとします。

参考：令和4年度 第58回東北高等学校バレーボール選手権大会新型コロナウイルス感染防止対策についての確認事項

### (1) 学校の休業によるもの

	状 況	判 断
1	学校の全部または一部が臨時休業になった場合。	<ul style="list-style-type: none"><li>陽性者、濃厚接触者、検査対象者は、保健所または医療機関からの許可があるまで、大会に参加できない。</li><li>上記以外の者は、感染の可能性がない、または検査結果が陰性であり、行動制限を伴わない場合は、学校当局が出場の可否を判断する。</li></ul>

### (2) 個人の状況によるもの

	状 況	判 断
1	新型コロナウイルスの陽性者になった場合。	<ul style="list-style-type: none"><li>当該生徒およびスタッフ等は、入院やホテル療養、自宅待機等の行動制限を課されている期間、大会に参加できない。</li><li>陽性判明者が複数判明するなどチーム内で感染の拡大が疑われる場合、チームは大会に参加できない。</li></ul>
2	新型コロナウイルスの濃厚接触者・接触者になった場合。	<ul style="list-style-type: none"><li>当該生徒およびスタッフ等は、保健所又は学校から行動制限を課されている期間、大会に参加できない。ただし、接触から一定期間（5日間）経過し検査を実施し陰性が確認された場合は、出場を認める。</li></ul>
3	新型コロナウイルスの検査対象者になった場合。	<ul style="list-style-type: none"><li>当該生徒およびスタッフ等は、検査結果が判明するまで、大会に参加できない。ただし、検査結果が陰性であり、行動制限を伴わない場合は、大会に参加できる。</li></ul>
4	同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。	<ul style="list-style-type: none"><li>当該生徒およびスタッフは、検査結果または医療機関による診断結果が判明するまで、大会に参加できない。ただし、検査結果が陰性であり、行動制限を伴わない場合、または医療機関からの許可があった場合、大会に参加できる。</li></ul>
5	大会1週間前から当日までの間に、発熱や風邪症状、味覚異常等がみられた場合。	
6	大会2週間前から当日までの間に、政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等へ渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合。	

## 【Ⅲ. 新型コロナウイルス感染症対策として行うこと】

※各チームでベンチや控室を消毒するためのアルコール、除菌ペーパーなどを用意してください。

### 1. 会場内での行動

- ① マスクを持参し、館内では着用してください。
  - ・移動するとき、競技を行っていないとき、控え場所で待機する際、ベンチにいるとき、
  - ・会話をするとき、更衣室で着替えを行うとき、チームでミーティングするときなど
  - ・試合終了後は、すぐにマスクを全員着用すること。(ベンチを出る時点で着用させる)
- ② こまめな手洗い、アルコール消毒液による手指消毒、咳エチケットの遵守の徹底をしてください。
  - ・入館・退館時、食事の前後、トイレの後、競技後など。
- ③ 控室でもマスクを着用し、食事の際は対面を避け、黙食を徹底してください。
- ④ 他者との距離(できるだけ2m以上)を確保してください。
- ⑤ 会場出入口およびロビー付近では滞留しないでください。
- ⑥ 更衣室などでの密集を避け、試合と担当審判が終了したら速やかに退出してください。
- ⑦ 会場内で生徒が行う「大会役員等とすれ違う際の挨拶」は、省略するよう指導してください。

### 2. 試合に関して

**オンコートの選手以外は、必ずマスクを着用してください。ベンチ、ウォームエリアもマスク必着です。**

※必ず不織布のマスクを着用してください。ただし、コート内では布製やウレタン製のマスク着用も認めますが、コート外では、不織布と二重にしてください。

**コート外の選手は、まとまった応援は控え、マスクを外さずに、コート内に個別に、声をかける程度にとどめてください。**

- ① 各チームで会場に持ち込む用具(練習球・トロリーなど)は、使用前後に必ず消毒を行ってください。
- ② 監督やキャプテンが記録用紙にサインをする際やコートオフィシャルの記録員を担当する際の青ペンを各チームで準備し、使用の都度消毒を行ってください。
- ③ タオルの共有やドリンクの回し飲み、アイシングバッグなどの共用は絶対に避けてください。また、チーム内で出たゴミは必ず持ち帰ってください。
- ④ 試合前後の握手は、一礼で代替します。試合終了後に相手チームベンチへの挨拶は行わないでください。
- ⑤ 試合前後やタイムアウトでのベンチ集合時、できるだけ密集・接触を避けてください。
- ⑥ ベンチおよびウォームアップエリアでは互いに間隔を取り、密を避けてください。
- ⑦ セット終了後、試合終了後は、使用したベンチの消毒をしてください。
- ⑧ コートオフィシャル(記録員、ラインジャッジ、得点板など)の際も、マスクを着用すること。
- ⑨ 更衣室などでの密集を避け、試合と担当コートオフィシャルが終了したら速やかに帰宅してください。使用した控室等も忘れずに消毒してください。

### 3. 応援等で禁止する行為 ※観客席の応援団も含む。事前に連絡をしてください。

- ① 声を出しての応援 や 声だしを先導するような応援(反復・継続的に行われる応援歌)  
(22日、23日は、太鼓等の打楽器や鳴り物も使用不可とします)
- ② マスクを外した応援(指笛など)
- ③ 人と接触する応援(ハイタッチ・肩組みなど)
- ④ メガホンの利用(飛沫感染防止のため)
- ⑤ スティックバルーンの使用(息で膨らませるため)

### 4. 応援等で容認する行為

- ① 拍手や手拍子
- ② タオルマフラーや応援うちわを振るもしくは回す、自席で掲げる、大旗を振る
- ③ **ブラスバンドや太鼓等の打楽器、鳴り物を使った応援は、29日、30日のみ認めます。**  
※準決勝出場チーム決定後に、対象チームに注意事項等を連絡します。

以上

## 【IV. 競技関係、審判関係】

- (1) 各チームは、大会役員の指示があつてから入場をしてください。
  - ・第2試合以降は、前の試合の消毒、チームの退場、コートチェックが終わってからの入場となるため、指示があるまでフロア出入口のドアの外で待機すること。
  - ・待機しているチームは、前の試合のチームが速やかに退場できるように、フロアの出入口付近を広く開けておくこと。
- (2) 試合が終わったチームは、自チームのベンチを消毒して、速やかに退場してください。
  - ・ベンチおよびフロア内で試合終了後のミーティングは行わないこと。  
(次のチームが早く入ることができるよう、試合進行にご協力をお願いします。)
- (3) 試合終了後に大会役員がベンチ以外<sup>※</sup>の消毒作業を行います。(概ね5分程度)
  - ※ボール、ラインズフラッグ、ネット、審判台、記録席、必要に応じて筆記具など
- (4) ベンチは、アタックラインから1. 5m離れた場所から間隔をあけてイスを7席設置します。
  - ※春高バレー全国大会と同一方法で実施
  - ・控え選手は、イスではなくウォームアップエリアで、マスク着用の上待機すること。
- (5) ウォームアップエリアは、ベンチの外側に、4m×4m(または16㎡以上)<sup>※</sup>とします。
  - ※JVAコロナガイドラインで実施
- (6) コートチェンジは以下の手順で行います。
  - ① セット終了後、コート内の6人はエンドラインに整列する。
  - ② 残りのベンチメンバー(控え選手またはベンチスタッフ)で、速やかに自チームのベンチを消毒する。(消毒資材は、各チームで準備すること)
  - ③ 両チームの消毒が完了し、主審の許可(吹笛)があつてから移動する。  
(セット間は、この時点から計時する。許可前にスタッフ等が先に移動しないこと。)

## 【V. 会場使用について】<sup>※詳細(入場時間、控室等)は後日、運営情報でお知らせします。</sup>

- (1) 出場する試合によって入館時間が異なります。
  - 指定時間前の上場は行わないこと。【指定時間に合わせて受付では準備するため】
- (2) 控室は、指定の場所を使用し、使用後は消毒を必ず行ってください。
- (3) **試合ごとの入替制になります。試合終了後に控室等を各チームで消毒し、速やかに退館してください。**
  - ※応援席についても同様に消毒をお願いします。(応援者が消毒作業を行うこと)**
- (4) 自チーム以外の観戦およびビデオ撮影は認めません。(撮影場所は、自チームの応援エリアのみ)
- (5) 大会に関係のない場所への出入りは行わないでください。
- (6) ごみは、自チームでまとめて、必ず持ち帰りを行ってください。

## 【VI. 入場時の手順について】(チーム関係者、応援者、大会役員、報道関係者等)

### 検温(大会当日の体温)

37.5℃以上の場合

入場不可

37.0℃～37.4℃

自己管理のもと十分に注意して行うこと。ただし絶対無理をしないこと。また、体調がすぐれない場合は速やかに競技役員まで申し出ること

### 健康チェック

- ①平熱を超える発熱がない
- ②咳(せき)、のどの痛み等の風邪症状がない
- ③だるさ(倦怠感)、息苦しさ(呼吸困難)がない
- ④臭覚や味覚の異常がない
- ⑤体が重く感じる、疲れやすい等の症状がない
- ⑥新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がない
- ⑦同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない
- ⑧過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がない

#### 1. 日々の体調確認をお願いします。

- ・試合日14日前より検温などの体調確認をしてください。【大会時の報告は不要】
- ・JVA「健康チェックシート(自己管理用)」などを活用してください。

#### 2. 入場方法 ※健康チェックシート(自己管理用)は 提出不要

##### (1) チーム関係者及びチーム応援者

※指定された時間に、一斉に入場してください。(時刻は大会運営情報で連絡する。)

##### 【手順】

- ① 各チームまたは個人で体温計を用意し、検温を行う。
- ② 来場者管理シート(「チーム用」または「応援者用」)を提出する。
  - ・氏名、連絡先電話番号(生徒の場合は、学校の代表電話番号などでよい)を記入
  - ・当日の検温とシート下部にある健康チェック事項をレ点等で記入

**チーム：①チーム用を1部      応援者：②応援者用を1部**

##### (2) 大会役員、来賓等

- ・受付にて検温を行い、来場者管理シート「③役員用」に必要事項を記入の上入場してください。
- ・役員用IDカードを着用してください。

##### (3) 報道関係者、企業関係者

**各チームが業務委託する撮影業者(学校の写真部も含む)等は、報道関係者と同じ扱いとし、上記の通り受付を行い、当該校の試合間のみ入場を許可します。**

- ・受付にて身分の確認(名刺の受領)と検温を行い、来場者管理シート「④報道・企業関係者用」に必要事項を記入の上入場してください。
- ・報道用IDカード(撮影者は腕章)または企業関係者用IDカードを着用してください。

## 【VII. 応援者について】 ※感染者や地域情勢等により急遽変更となる場合があります

### 1. 応援者の範囲

- (1) 応援者は、各チーム 60 名以内とする。【2022春高バレー秋田県代表決定戦準決勝、決勝での基準】
- (2) 応援者の範囲は、各チームが入場を許可する範囲とする。（基本は保護者およびその家族、チームOB・OGとするが、チームの責任により範囲を広げてもよい）
- (3) 感染者の発生や地域情勢等により、急遽、応援者の入場を取りやめることがある。
- (4) **応援場所などの詳細については、大会運営情報で連絡する。**

### 2. 入場手順

- (1) **入場時には、各チームで作成したネームプレートを下げて入場すること。**  
【学校応援については、省略する】  
※書式は任意とするが、学校名と、1～60番までの管理番号を記載すること。  
学校名の文字の大きさは、目視で確認がしやすいサイズにすること。（24pt以上）  
※**ネームホルダーは常に見えるように着用すること。また大会役員等の求めに応じて確認をとれるようにすること。着用されていない場合は、その時点で退場させる。**  
**（その場合は、再入場も認めない）**
- (2) チーム代表者等または応援者の代表者が健康状態を確認し、別紙「来場者管理シート②応援者用」に当日入場する応援者の情報記入と、検温と健康状態のチェックをし、受付に1部提出の上、指定時間に一斉に入場する。【学校応援については、提出を省略する】
- (3) チーム応援者および学校応援者（以降、「応援者」と称す）は、**指定の場所**から入場し、試合後は速やかに退出すること。
- (4) 応援者の入場は、**指定の時間**とする。前の試合が遅れた場合は、前の試合の応援者が全員退出してから入場する。
- (5) 応援者の入場および退場は、一斉に行うこと。途中入場は認めない。途中退出した場合は次の一斉入場まで入場できない。

### 3. 感染防止

- (1) **【Ⅲ. 新型コロナウイルス感染症対策として行うこと】を遵守すること。**

#### ●応援等で禁止する行為

- ・声を出しての応援 や 声だしを先導するような応援(反復・継続的に行われる応援歌)
- ・マスクを外した応援(指笛など)
- ・人と接触する応援(ハイタッチ・肩組みなど)
- ・メガホンの利用(飛沫感染防止のため)
- ・スティックバルーンの使用(息で膨らませるため)

#### ●応援等で容認する行為

- ・拍手や手拍子
- ・**太鼓等の打楽器や鳴り物**
- ・**大旗を振る**
- ・タオルマフラーや応援うちわを振るもしくは回す、自席で掲げる

- (2) 体育館外において密になるような行為はしないこと。
- (3) 自チームの応援に限り、指定の応援場所（**チーム応援者 は 北側1階ロールバック席、学校応援は 北側2階席**）での応援を認める。
- (4) 応援者は、選手エリアに入ることは禁ずる。
- (5) 撮影用のビデオカメラ等や横断幕は、他のチームが接触することが無いようにすること。また設置のために指定の応援エリア以外に入ることは禁ずる。
- (6) 観客席を退出する際に、使用した場所（座席、手すりなど）を、応援者が消毒すること。  
※その際の消毒資材は、チームまたは応援者が準備すること。

## 【VIII. 準決勝・決勝の応援について】 ※詳細は準決勝進出チームに別途連絡します。

### (1) 各校の教員による統制が取れていることを条件\*として、各高校生徒による応援団等（いわゆる学校応援）を認めます。

※学校長より許可され、来場者を各チームで把握し、コロナ対策が徹底されていること。

（この場合に限り、ネームプレートの着用や「来場者管理シート」の提出は省略する）

- ・試合ごとの入替とし、前の試合のチームが完全に退場してからの入場とします。
  - ・※入場時間は、**指定の時間**としますが、試合進行や、前のチームの退場状況により時間が前後します。受付の指示に従って入場願います。また、待機時は密にならないように整列してお待ちください。
  - ・北側2階席を専用席とします。（他のエリアの観客席に生徒が立ち入るのは禁止）
  - ・組み合わせ表の番号の若いチームが、西側（正面入口側）とします。
  - ・校歌斉唱など、声を出しての応援は禁止とします。
  - ・ウェーブ や 横断幕などを観客がいる複数の座席を覆う形での掲出は 禁止とします。
  - ・ブラスバンドを入れる場合は、他の応援者とは離れて後方（11列目以降とする）での演奏とします。また、試合の進行を妨げないようにしてください。（オンプレー中の演奏は行わない）
  - ・生徒の統制のためにハンドマイクを使用する場合は、マスクを着用し、飛沫感染がないように配慮して使用してください。（ハンドマイクの使用は、29日、30日の2日間に限り、生徒の統制のみに使用することを条件に許可する）
  - ・決勝では、試合終了後に勝利者インタビューと表彰式を行いますので、その間は、応援行為はしないでください。
  - ・応援が終了しましたら、使用した場所の消毒を行い、速やかに退場をお願いします。
- (2) チーム応援者（60名以内）は、1階北側（主審側）のロールバックスタンドを応援席とします。
- ・組み合わせ表の番号の若いチームが、西側（正面入口側）とします。
  - ・入場時間は、**指定の時間**としますが、試合進行や、前のチームの退場状況により時間が前後します。受付の指示に従って入場願います。また、待機時は密にならないように整列してお待ちください。
  - ・応援が終了しましたら、使用した場所の消毒を行い、速やかに退場してください。

以上